

陽だまり通信

季刊誌
Vol. 60

2017年8月25日発行

特集

特集₁ 認知症カフェ“のぞみカフェ”オープン! 特集₂ アマノ夏祭りを開催しました

児童発達支援センター「おひさま」 福田センター長ごあいさつ
重度認知症デイケア 夏祭り開催
職場紹介「おひさま」「ハートフルあまの」
リハビリと栄養
学会報告
サークル紹介「バレーボール部」

特集1

望海の里に「認知症カフェ」のぞみカフェがオープンしました！

介護付有料老人ホーム 望海の里
生活相談員・広島県認知症介護指導者 田中 薫

これから8年先の2025年、日本は超認知症社会を迎えます。厚生労働省は、認知症の人が最大730万人にのぼると発表しています。これに認知症の予備軍とされる軽度認知障害の推測人数を加えると1300万人になると試算（NHKスペシャル取材班の試算）され、なんと国民の9人に1人、65歳以上に関しては3人に1人が認知症になると予想されています。

しかし、既に現在においても地域で暮らしている認知症の人とその



の家族の問題は社会にとっても大きな課題となっています。そこで私たちは、この超認知症社会を迎える前に「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」が必要だと考えました。



私自身も今から20年前、認知症の祖父を介護する際、認知症のこの、介護の方法や悩みなどをどこに相談すればいいかわからないまま地域で孤立してしまい、介護される側もする側も傷つくという状況に陥った結果、自身の家族が崩壊するというつらい経験をしました。この経験からも認知症の人と介護する家族の孤立防止などの対策として「認知症カフェ」は地域で大切な役割を果たすと考え、今年6月25日、望海の里に

「認知症カフェ」を立ち上げました。認知症カフェの意義と役割は、認知症の人、またはそうでない人、介護家族、地域住民、専門職など、異なった立場にある参加者に平等で中立な立場と環境を提供し、地域の財産として育まれることにあります。そして参加する人の利益としては、参加するすべての人の居場所になり、地域全体の認知症の理解に繋がることだと考えられます。

のぞみカフェ
年間予定表(29年度)

開催日	主な内容
6月25日(日)	オープニングセミナー(受付13時30分～)
7月23日(日)	創作・絵画・陶芸・山形県産品
8月27日(日)	マダモ様のスタジオレッスン(時の流れを止める)
9月24日(日)	夏の思い出・写真・イラスト・絵画・山形県産品
10月22日(日)	マダモ様のスタジオレッスン(時の流れを止める)
11月19日(日)	二重奏・三重奏・四重奏・山形県産品
12月17日(日)	二重奏・三重奏・四重奏・山形県産品
1月14日(日)	二重奏・三重奏・四重奏・山形県産品
2月11日(日)	二重奏・三重奏・四重奏・山形県産品
3月10日(日)	二重奏・三重奏・四重奏・山形県産品

毎月第4日曜日の14時から16時を予定しております。
内容は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
興味のある内容の月曜日に参加いただけます。
お申し込みは前月の20日までにお申し込みください。 入会費 100円

です。内容は「ゆるやかな認知症の学びと、多世代が交流できる楽しい創作活動」としており、12月を除く、毎月第4日曜日の14時から16時までオープンしています。みなさまぜひ、お気軽にお立ち寄りください。



ごあいさつ

児童発達支援センター「おひさま」センター長 福田 純男



この度、天野純子理事長より児童発達支援センター「おひさま」のセンター長を拝命いたしました福田です。

こちらでお世話になる前は、主に愛知県で小児科医として周産期医療を中心に勤務しておりました。小さな命が新生児集中治療室に入院してくると、多くの人たちがその命を支えるため働きます。レントゲン撮影を行う放射線技師、血液検査を行う臨床検査技師、未熟児用のミルクを調合する栄養士、入院が長期になれば理学療法士、作業療法士、保育士が病棟に来て小児のケアを行います。聴力の検査は言語聴覚士の担当です。退院後の自宅での療育にはケアマネ担当者や保健師が手続きを進めます。関係書類の作成は医事課の担当者が行います。そしていつも子供のそばに居るのが看護師です。退院後の長期に及ぶフォローや時にリハビリにも多くの方々から援助をいただきました。不詳私も小児科医として診療に参加しておりました。



音楽ボランティア「さといもの会」の皆様による演奏に笑顔満開！

あまのクリニック 総務課 茶村 勝興

あまのクリニック通所デイケアで2ヶ月に1回奇数月にボランティア演奏していただいている「さといもの会」。



利用者の皆さんが楽しみにされていた7月22日の土曜日に、ギター、フルート、サクソ、ピアノの演奏と歌が披露されました。

曲目は、「夏の思い出」「赤とんぼ」「涙そうそう」など全12曲。

利用者さんが以前からなじまれておられる曲には、演奏に合わせ口ずさまれるなど、いつにも増して楽しい時間を過ごされたようでした。

「さといもの会」は、当医療法人とご縁から立ち上げをされ、現在19年目を迎えられたそうです。

「さといもの会」の皆様、いつもありがとうございます。



重度認知症デイケア、夏祭りを開催！

あまのクリニック 重度認知症デイケア主任 藤原 朋子

重度認知症デイケアでは、7月21日に夏祭りを開催しました。ちょうちんや千代紙で飾りつけされたデイルームは、普段と違って、夏祭りらしい賑やかな雰囲気になりました。

最初におどろジュースで乾杯し、気分を盛り上げてから夏祭りをスタート。お祭りをイメージしたレクリエーションとして、的当て、金魚すくい、輪投げの3種類のゲームに参加していただき、最後は「炭坑節」の音楽に合わせて職員も一緒に盆踊





10 14 17 19 ダンスパフォーマンスで会場はノリノリでした！

11 13 マジックショーにハラハラ、ドキドキ

12 剣刺しマジック！大丈夫？

15 かき氷の準備はOK！ 16 はい、かき氷どうぞ

18 シロップいっぱいかけてね

20 看護部長も参加するフラダンス

21 人気投票の結果、フランクフルトが53票で1位でした！

22 川上院長閉会の挨拶で今年も無事終了しました



- 1 かき氷もらいました！
- 2 天野理事長の挨拶でスタートです
- 3 あまの保育園のキッズダンスでほっこり気分
- 4 こんばらさんによるマジックショー
- 5 夜店の券で次に何もらう？
- 6 YOSAKOIの出番待ちで真剣な表情のリハビリ職員
- 7 ジュースどれにしようかな
- 8 たくさんの方に参加していただきました
- 9 新入職員によるYOSAKOIは元気いっぱい！



7月29日(土)にアマノ夏祭りを開催しました。
 今年は、かわいいキッズダンス、会場がノリノリになったダンスパフォーマンス、元気活力いっぱいのYOSAKOI、ハラハラドキドキのマジックショーがあり、たくさんの方々に楽しんでいただけたと思います。
 来年も地域の方々に喜んでいただけるような夏祭りにしたいと思います。



職場紹介

児童発達支援センターおひさま

主任 國廣 孝弘



おひさまは、平成29年4月より、医療的なケアが必要な重度の障がいのあるお子様をはじめ、肢体不自由や発達障害のお子様を毎日通える「児童発達支援センター」として新たなスタートをきりました。ここでは、月曜日から金曜日まで、医師、看護師、保育士、療法士、児童指導員といった多職種の職員が関わり、専門的・多角的な視点からお子様の療育を行っています。

対象は未就学児で、午前は親子で一緒に過ごす親子教室。いろいろな遊びを親子で楽しむ中で、家族同士のつながりも広がっています。午後はお子様だけで過ごす教室で、季節感を大事にしながら感覚を刺激するような創作活動や、遊具を使った運

動などに取り組んでいます。月1回は全部のお子様を対象に、甘日市市スポーツセンターのプールでの療育も行っています。年長組になると、小学校入学に向けた支援も行います。また、家族・職員と一緒に参加する勉強会や茶話会を開き、ともに学んだり、子育てのアドバイスをし合ったりすることを通して、互いに何でも相談できる信頼関係づくりにも努めています。おひさまでは、これからお子様一人ひとりのその子らしさを大切にしながら、おひさまのように、あかるく、やさしく、あたたかくお子様を支援していきます。



生活介護事業所ハートフルあまの

副主任 都間 真由子

今年4月より、医療的ケアを必要とする方も含め利用者様の支援のさらなる充実を目指し、「地域活動支援センター」から「生活介護事業所」に事業内容を変更しました。障害支援区分が3以上の方（50歳以上の方は2以上）がご利用いただけます。

午前はレクリエーション、午後はサークル活動として、季節感を取り入れた創作活動や、楽器を通してリズムや音色を楽しむ音楽活動などに取り組みんでいます。その他、調理や外出を行っています。調理では、メニュー選びから利用者様と職員とでしっかり話し合いを行いながら、



また、外出では可能な限りご希望の場所に行けるよう準備と体制を整えて臨んでいます。このような活動はいつもとは違う利用者様の表情を発見する機会となり、さらなる可能性を引き出す手がかりにもなります。利用者様が日々の活動の中でチャレンジしようとする気持ち、またやり遂げるまでの過程を大切に、楽しさや達成感を共有できるような支援を心がけています。今後も住み慣れた地域で自分らしく、心豊かに暮らしていただけるよう、お一人お一人の気持ちに寄り添いながら支援をしていきたいと思っています。

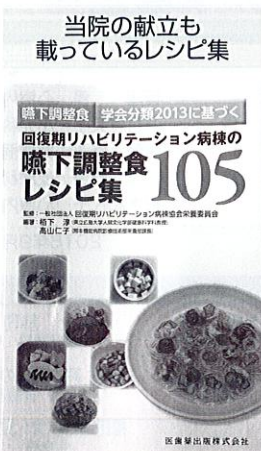
リハビリと栄養

アマノリハビリテーション病院 栄養管理課 主任 土井 千代美



リハビリと栄養は切り離せられない関係というのはご存じですか？きちんと食わずにリハビリをがんばると、体に蓄えられていた栄養が消費されてしまい、「元気になるどころか、反対に「栄養失調」になってしまいます。つまり、食べられないのであれば、過度のリハビリは体に悪影響を与えるということになります。そうならないためには、特に肉・魚・大豆製品・乳製品といった筋肉を作るものとなる「たんぱく質」が重要となります。

栄養管理課では元気な体を作るための食事作りをしています。糖尿病や高血圧の方には治療食を、嚥下（飲み込むこと）や咀嚼（噛み砕くこと）に支障のある方には硬さや大きさ等形態を工夫した食事を提供しています。また、現在痩せていて、リハビリをたくさんしなくてはいけない方にはちよっと多めに食べてもらう工夫もしています。



七夕の献立（常食）

も、食べることはとても大切です。食べて動いて筋肉を維持できる方が長く元気でいられます。のど越しがいい麺類だけの食事になっていませんか？菓子パンやおまんじゅうだけで食事を済ましていませんか？高齢者こそ、焼肉やウナギも食べて、元気で長生きしましょう。

第23回日本心臓リハビリテーション学会 学術集会参加報告

アマノリハビリテーション病院 リハビリテーション部 課長 山本 恵子

会期…平成29年7月15日～16日
会場…長良川国際会議場、岐阜都ホテル、ぎふ清流文化プラザ、岐阜メモリアルセンター

心臓リハビリテーションは、心疾患、血管疾患に対して、初発・再発予防、治療、早期退院、社会復帰などを目的としています。運動や、薬、栄養、生活指導、ストレスの管理等が必要となってきます。そのため今回の学会では、多職種が協力し、様々な取り組みが必要があるという事が強調されていました。

また、心臓治療は手術で良くなった後もその後の継続的なリハビリが必要であること、心臓疾患があっても

安心してリハビリが行える場が必要であること、多くの合併症を有する高齢者に個別に対応できる必要があること、等が様々な発表の中で聞かれました。

具体的な取り組みについて聞くことができ、患者さんにとって心臓病を発症してもその後の生活がよりよいものとなるよう、色々な職種の方と一緒に、当院の心臓リハビリの更なる質の向上に取り組んでいきたい、と強く感じるようになりました。



学会会場内



同行者：理学療法士の藤原さん

【お詫びと訂正】 本誌、平成29年5月17日、59号に掲載しております記事で、左記につきましては3ページ（新採用者あいさつ）の「准看護師大村 真理」は、正しくは「看護師大村 真理」です。 広報委員会

職員
サークル
紹介

バレーボール部

部長 伊達 大輔

現在、混合バレーボール大会への出場を予定しています。今年度は1セットを取る、来年度は1勝、その次は広島県大会優勝、5年後に全国大会出場、そして10年後には全国制覇と、大きな夢を目標に毎週1回当院近隣の小学校で活動しています。また、清掃活動に参加するなど地域活動にも積極的に参加するよう部員一同、地域の一人としての自覚を持ち活動しています。

今後は他医療機関、地域のバレーボールチームとも練習試合など行いながら地域の皆様ともつながっていかれたらと思います。



天野 純子…内科・リハビリテーション科
川上 恭司…循環器科
福田 裕恭…内科・心療内科
福田 純男…小児科
狹田 純…リハビリテーション科・神経科

中島 康…内科・循環器科
山根 浩介…内科・放射線科
小浦 義彦…リハビリテーション科
西山奈緒子…内科・リハビリテーション科
菊地 由花…総合診療科・リハビリテーション科

大森 信忠…心療内科
木村 浩彰…リハビリテーション科
三上 幸夫…リハビリテーション科
澤 衣里子…リハビリテーション科
松下 宏子…内科・循環器科

榎津 優…心療内科
河村理英子…小児科
伊藤 泰子…循環器科
古屋 直美…皮膚科
柏木紀代子…心療内科

2016年9月以降

アマノリハビリテーション病院

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～12時	1診	中島 康 内科・循環器科	菊地 由花 リハビリテーション科	山根 浩介 内科・放射線科	松下 宏子 内科・循環器科	山根 浩介 内科・放射線科	川上 恭司 循環器科
	2診	狹田 純 リハビリ・神経科	—	狹田 純 リハビリ・神経科	狹田 純 リハビリ・神経科	大森 信忠 心療内科	狹田 純(第2.4のみ) リハビリ・神経科
		—	—	—	—	—	福田 純男(第1.3のみ) 小児科
午後		休診					

あまのクリニック

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～13時	1診	—	山根 浩介 内科・放射線科	—	—	狹田 純 リハビリ・神経科	—
	2診	榎津 優 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	柏木紀代子 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科
午後 2時 ～5時	1診	—	中島 康 内科・循環器科	—	—	—	—
	2診	福田 裕恭 内科・心療内科	—	—	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科

※急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。 ※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。

医療法人 ハートフル

<http://www.amano-reha.com>

アマノリハビリテーション病院

廿日市市陽光台5-9 TEL.0829-37-0800

【診療科目】 内科・リハビリテーション科・神経科・心療内科・循環器科・皮膚科

【診療時間】 午前9時～12時

【休診日】 日曜・祝日

あまのクリニック

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5151

【診療科目】 心療内科・内科・循環器科・リハビリテーション科

【診療時間】 午前9時～13時(受付は12時まで) 午後2時～5時

【休診日】 水曜・金曜(午後)・日曜・祝日

■通所リハビリテーション

■重度認知症患者デイケア

■高齢者デイサービスセンター ゆうゆうあまの

廿日市市新宮1丁目13-1
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
TEL.0829-20-1620
電話対応可能時間 月曜～土曜可能
午前8時30分～午後5時30分

■広島西障がい者就業・生活支援センター もみじ

廿日市市串戸5-1-37 あまのクリニック内5F
TEL.0829-34-4717 FAX.0829-34-4718
電話対応可能時間 月曜～金曜
午前8時30分～午後5時30分

■相談支援事業所 あおぞら

廿日市市串戸5-1-37 あまのクリニック内5F
TEL.0829-34-4710
電話対応可能時間 月曜～金曜
午前8時30分～午後5時30分

■生活介護事業所 ハートフルあまの

廿日市市新宮1丁目13-1
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
TEL.0829-20-1624
電話対応可能時間 月曜～金曜
午前8時30分～午後5時30分

■放課後等デイサービス スマイリー

廿日市市新宮1丁目13-1
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
TEL.0829-20-1624
電話対応可能時間 金曜・土曜
午前9時～午後3時

■あまの訪問看護ステーション

岩国市牛野谷町3-49-53
TEL.0827-32-6265
電話対応可能時間 月曜～土曜日、祝日
午前9時～午後6時 ※緊急時は24時間対応

■訪問看護ステーションハートフルステーション あまの

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5212
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

■介護付有料老人ホーム 望海の里

廿日市市宮島口東2-13-15 TEL.0829-56-4580

■介護付有料老人ホーム カーサ ミーア

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1133

■児童発達支援センター おひさま

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1166
電話対応可能時間 土曜・日曜・祝日除く 午前8時30分～午後5時30分

■アマノ居宅介護支援事業所

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5213
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

発行:医療法人 ハートフル

企画・編集:広報委員会

発行日:2017年8月25日 季刊誌